



今月のメダマ

「ニコメ」と「となり」の化学反応④

田舎暮らしの魅力発信について



東京から移住して比内地区の農園で働くゴメさん、北秋田市出身で麓に何度も通っている木村さん、宮城出身でゲストハウス運営に関わったことがあるふくさんが参加してくれました。

県内各地で行われているちょっと気になる活動や人を参考に、大館市大町のニコメに集う人びとが「自分がこのまちでやってみたいこと」について自由に話してみる連載企画！第4回目のテーマは「田舎暮らしの魅力発信」です。参考にしたのは、地元民との交流を通じて田舎のリアルな生活を体験できる、にかほ市の「ゲストハウス麓(ろくます)」。座談会では、県外からの移住者と地元出身者、それぞれの視点が交わり、新鮮な発想を聞くことができました！

1 田舎暮らしの“本当の”魅力とは？

**ふく** いろんな良さが隠れていて、掘れば掘るほど宝さがしみたいにどんどん魅力が見つかるのが田舎の好きなところ。しかも、自分自身がその魅力を掘り起こす人にもなれるんです。

**木村** 以前、東京から来た人に、「緑の匂いがするよね」と嬉しそうに言われて、田舎育ちの私はそんなことに感動するのかと驚きました。よく「田舎は何もない」と言うけれど、余計な情報が無い分、そういうものがスッと入ってくるのかもしれないですね。

**ゴメ** 東京と違って、誰にも会わずにゆっくり時間を過ごせる場所が田舎にはたくさんあるんです。都会の利便性と比較しても、こっちの方がずっと魅力的だと感じますし、それを求めている都会人はたくさんいると思います。



イラスト：ふくさん

3 この地域でやるならどんなこと？ おもしろいことやってみよう！

**ゴメ** 私は、美術館で絵を見たり、映画館で映画を見たりするのと同じような感覚で、田舎の風景を“鑑賞”するんです。椅子とコーヒーだけを持って外に出て、1時間ぐらいただ座って景色を眺め、音や風を感じるのとはとても贅沢な過ごし方です。それをイベント化するのはどうでしょう？自然は見る人によってまったく違うので、同じように1時間座っていてもそれぞれストーリーが生まれますよ。

**木村** まさにゴメさんがやっているように椅子に座って自然の中で過ごすことを「チェアリング」といって、私も以前からやってみたいと思っているんです。水が好きなので、川辺で水の音を聞きながらゆっくりしたいです。

**ふく** 去年、雨の音や稲穂が揺れる音に心惹かれて、大館を舞台にした小説を書いたんです。そんな風に、チェアリングのイベントをアートや創作につなげてもおもしろそうですね。

参考にしたのは…

にかほ市 ゲストハウス麓(ろくます)



コンセプトは「自分の田舎を作る観光体験ゲストハウス」。二拠点生活や移住を考える都会出身・在住者をメインターゲットに、

集落のリアルな暮らしと地域の魅力を体感してもらうことを目的としています。農業や漁業、集落の祭りなどの観光体験プランを提供するほか、多くの近隣住民が毎日のように麓を訪れ、宿泊者と密に交流しています。

立ち上げたのは、東京出身の若者2人組「Ventos」。国内外を旅した経験から、「ネットに載っている観光地を巡るだけでなく、地域の人々と交流することで、もっと濃い体験につながる」と感じたそうです。

北鹿のコレが気になる



図書館に棲む恐竜たち

栗盛記念図書館の本棚の上にはいた、紙でできた恐竜たち。ティラノサウルス、トリケラトプス、ステゴサウルス…。恐竜が好きなので、見つけた瞬間思わず「かわいい！」とカメラを向けてしまいました。絵本や児童書のコーナーは他にもかわいい小物がいっぱいいて、大人の私もワクワクします！

(T-REXさん / 大館市)

いしころキラリ

シンプルな文字に込めたメッセージと向き合い続けてはじめるまで

THE ODATE

Only & Locally



～THE ODATE 地大館:ジ オオダテとは～ 大館の地形や気候・自然や文化から生まれ、根ざした産品は他に類を見ない「大館そのもの」です。この「地」という言葉を、唯一無二を表す「THE」と統合することにより、大館という地域の特性や風土まで包み込み継承していくための軸としてして広く展開していきます。

最初のきっかけは、いしころ合同会社にデザイン業務で依頼される案件が、大館の特産品や農産物などが多いことにありました。リサーチ・ブランディング・デザインしていくうちに、バラバラに展開するより、一本の軸としてまとめていく方が、より明確なメッセージを発信できるのではないかと考えるようになりました。そしていつしか仕事としてではなく、自発的にブランドを立ち上げようという推進力になりました。

この地で暮らし、向き合い続けてきたからこそ見えること。シンプルな文字の奇跡的にかつ記憶に残るメッセージ性。余計なものを取り除き、今まで培ってきたクリエイティブな手法を駆使して、ブランド展開していきます。本当に自分たちが発信したいものを厳選して、ときに寄り添い、ときに俯瞰しながら。



instagram  
@THE\_ODATE



twitter  
@THE\_ODATE



URL

https://theodate.site



ニコメ/メ  
Twitter  
アカウント



@nikomenome